

2017年度

阪神淡路大震災の集い

期日:2018年3月3日(土)

午後3時~午後5時30分

会場:正蓮寺(神戸市兵庫区)



あれから23年…

私たちにとっての居場所



写真:松本せせらぎ通り

「松本せせらぎ通り」は、震災復興のシンボルとして、住民と市との「協働」のまちづくりにより、平成15年9月に完成しました。

毎年のように各地で起る災害、それによってもたらされる被害は様々であり、一人ひとり、また各々の災害によって違ってきます。さらにそれは時間の経過とともにまた新たな一面もあらわになってきます。

その中のひとつが今回のテーマである災害被災者にとっての居場所ということだと思います。災害によって住み慣れた自宅での生活が失われ、避難所、仮設住宅というところで新たな生活を強いられます。さらによくその環境に慣れてきたところをまた奪われていくという事実があります。

居場所とは単に寝食をするという場所ということだけではなく、それまでそこで生きてきた時間、そこで築かれた人間関係、そのことによって本当に自分が安心していられる場所、帰る場所ということなのでしょう。その場所が失われるということは被災者だけの問題ではなく、私たち一人ひとりの人間としての問題でもあります。

震災というのは単なる自然災害だけをいうのではなく、それに端を発した私たち社会がつくりだす害でもあるのでしょうか。神戸においてその課題と向き合い、借り上げ復興住宅の行政による退去問題を通して、居場所を失いつつある人々の声に耳を傾け、丁寧に活動されてきた関本英恵氏にお話をいただき、あらためて私たちにとって「居場所」とは何であるのかを考えていきたいと思います。

さらに来年迎える阪神淡路大震災25回忌における私たちがこの問題とどう向き合ってきたのか、これからどう歩んでいくのかと一緒に確かめていきたいと思います。

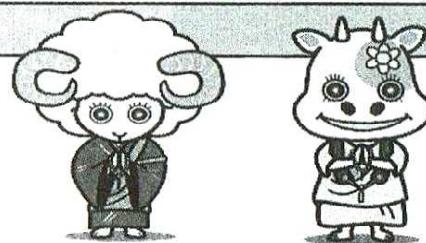
山陽教区教化委員会社会問題部門主催

期日	2018年3月3日(土)	午後3時から午後5時30分まで(受付は、午後2時30分から)
会場	山陽教区神戸組正蓮寺	(神戸市兵庫区上沢通二丁目5番6号) 神戸電鉄湊川駅・神戸市営地下鉄湊川公園駅から徒歩5分！
講師	関本 英恵 氏 	ろっこう医療生協職員。神戸大学在学中に借り上げ復興住宅に入居した被災者の苦悩を大学の卒業論文にまとめた。また、大学在学中は被災者支援のサークル「灘地域活動センター」の代表を務め、災害復興住宅の入居者らと交流を重ねてきた。 書籍「22歳が見た、聞いた、考えた『被災者のニーズ』と『居住の権利』—借上復興住宅・問題」を出版。入居者の話のほか、自治体が契約期限を事前に説明していなかったケースや、借り上げ復興住宅となる集合住宅を借金して建てた所有者の苦悩も紹介している。

時間	日程
14:30	受付
15:00	開会(真宗宗歌・趣旨説明・挨拶)
15:10	講演(関本英恵氏)
16:10	休憩
16:25	パネルディスカッション 関本英恵氏×五百井正浩氏(真宗大谷派玉龍寺住職)× 山村ちずえ氏(住宅問題当事者) コーディネーター:中杉隆法氏(真宗大谷派西林寺)
17:25	閉会(挨拶・恩徳讃)
17:30	終了



お問い合わせ
真宗大谷派(東本願寺)山陽教務所
TEL 079-292-3690
<http://www.sanyo-kyoku.jp/wp/>



会場(真宗大谷派正蓮寺)へは、
公共交通機関のご利用をお願いします。
神戸電鉄湊川駅・神戸市営地下鉄湊川公園駅から徒歩5分！